

## 年頭のご挨拶

院長 濱崎尚文

新年あめでとハジマセマ。

智頭病院長としての願いは、町民の皆さんのお健康と幸せです。しかし、加齢により身体がられません。」り、早目に対切です。



## 〔地域包括ケアシステム〕 国の方針

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目指し、重度な要介護状態となつても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される[地域包括ケアシステム]の構築を実現していきます。
  - 認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、[地域包括ケアシステム]の構築が重要です。
  - 高齢化の進展状況には大きな地域差が生じています。[地域包括ケアシステム]は、保険者である町や県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要です。

病状が入院適応にそぐわない場合は、介護施設への入所か支援を受けての在宅生活となりますが、では、「生活支援のための入院ができないなら、介護施設に入所したい」の願いはどうでしょうか？

介護施設に入所するにも経費がかかります。経済的な困難性や、空き部屋がないために介護



家庭の事情は様々です。独居の人、老々介護の人など、すべての家庭が十分な家族介護力を持っているわけではありません。繰り返しになりますが、要介護・生活支援を目的とした智頭病院への入院が出来ない現状になっています。

病状からは在宅介護が可能だが、一方、家族介護力が十分でない場合と、施設介護が必要だが経済的理由で入所できない人をどうするのか？

入院・入所できない人は《希

『望しない』のに、また、ひらべ  
苦しきても、最後まで自宅で過  
ごさなくてはいけない時代が  
やつてきます。

一人ひとりの町民の皆さん  
の覚悟と、隣近所や親戚・友人同  
士の具体的な助け合いの仕組み  
が必要になります。

決して他人事ではなく、自分  
のこと・家族のこととして、具  
体的な対応策を早めに構築する  
ことになります。



援の体制づくりが大切です。これから日本の日本は、それぞれの地域の「地域力」が問われる、厳しい時代を迎えます。「自分たちの地域は自分たちで守る」覚悟が必要です。

智頭町・町民の底力が活かされることを祈ります。

智頭病院も、職員一同、しっかりと取り組みます。

原団は「いきいき鳥取っこ」のイメージで、県教育委員会社会教育課（当時）で、大学教授などと医師では私が参加し、五人で整えました。大人こそ大切にして欲しい図です。私は自身の生涯学習の指針として、今でも大切にし、活かしています。四半世紀を経ても輝いている図で

生きている事実に感謝する事と、健康を大切にすることは根幹です。そして、大人・高齢になつても、わざやかでも良い、実現可能な夢を抱き続けることも願いで、子どもたちにも示すのです。

いろいろと創造し、挑戦していくことも、そして、いろいろな方法で表現をすらべます。

生き生きは、大脳のシナ  
プス（神経細胞のネットワー  
ク）の育ち方が重要なのね。  
どんな要素を学習して行  
くのかは、常に二者択一で選  
択することになります。

テレビ等を見るか、消すか、  
食行動などもそうです。人生  
は、失敗が多くあります。失  
敗をバネにして、幸せに向け  
て日々生活しているのです。

太陽のよつな〇が個人です。命を大切に、夢を抱き創造・挑戦し、多様な表現をし、感動をすることが人生の願い・目標になります。

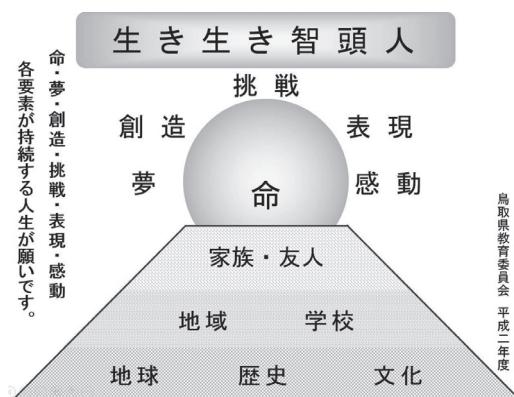
個人を支えているのが家族・友人で、土台に地域・学校があり、根底には地球・歴史・文化が支えられています。

# 幸せを育む大脳（下）

連載 ♪ 第 12 回

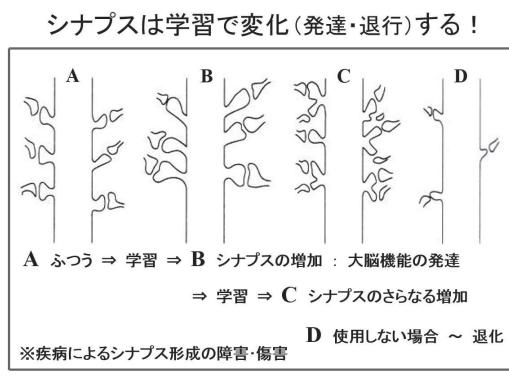


小學科 大谷巷一



鳥取県教育委員会 平成二年度

日の出や湧き上がる雲を  
美しいと思い、一人で感動す  
る心があり、また、仲間と力  
を合わせて達成した際などの  
感動もあります。自身、六つ  
の要素が循環している事実  
に、感謝至極です。



## 幸せな人生とするヒント 自他への祈り・許し

今・今からを大切に、（過去にとらわれないで、）  
達成可能な方法論を展開することです。

あらゆる問題は  
その人がそうせざるを得なかつた  
との認めにたつことが大切です。  
(立つ・登つ)

ご意見・感想をお寄せく  
ださい。(智頭病院 総務課)

人生では「今・今からを大切に」、達成可能な方法論を展開する「こと」が、幸せな人生とするためのコツなのです。

単純には、家族・仲間との関係性などで、「ありがとう・ステキだ・うれしい」を、大脳に定着させることです。

一年間のシリーズ、「幸せな人生とするヒント」を大切にします！

「あらゆる問題は、その人（関わる人、自分自身）がそうせざるを得なかつたとの認めにたつことが大切」で、過去・歴史ことは学び売ります。

# 幸せな人生とするヒント 自他への祈り・許し

---

今・今からを大切に、（過去にとらわれないで、）  
達成可能な方法論を展開することです。

---

あらゆる問題は  
その人がそうせざるを得なかつた  
との認めにたつことが大切です。  
(立つ・発つ)